

【別紙2-1】テレワーク環境負荷測定ワークシート

評価項目(※1)			測定データ(変化量)(※1)			CO2排出原単位(※3)			CO2排出変化量			
ライフサイクルステージ	活動	環境負荷要因	測定項目	測定値<A>	単位(※2)	数値	単位(※2)	出典	数値<C>	単位		
テレワーク導入前後で、存在しない活動および活動量に変化がないものは削除し、不足項目があれば追加ください			・左記要因の変化量を測定し、測定結果を下記にご記入ください ・テレワーク導入後、活動量が増加する項目はプラス値を、削減される項目はマイナス値でご記入ください (必要に応じて、計算シートテンプレートをご活用ください)			出典を参照するか、お持ちのデータを活用して原単位を設定してください			<C> = <A> × 			
(a) 調達	②ICT機器利用	各種ICT機器の製造負荷(※4)	(機種別に設定)	新規購入台数			(※4)					
					台		kg-CO2/台		0.0	kg-CO2		
	④ソフトウェア利用	既製品ソフトウェアの開発負荷(※4)	(ソフトウェア別に設定)	購入ライセンス数			(※4)					
					ライセンス		kg-CO2/ライセンス		0.0	kg-CO2		
(b) 設計・開発	①材料・エネルギー消費	紙の使用	(用途別に設定)	使用増減量				『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)		0.0	kg-CO2	
					kg/年		kg-CO2/kg					
		プリンタカートリッジの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量				(※4)				
					kg/年		kg-CO2/kg			0.0	kg-CO2	
		メディアの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量				(※4)				
					枚/年		kg-CO2/枚			0.0	kg-CO2	
		梱包材の使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量				(※4)				
				■/年		kg-CO2/■			0.0	kg-CO2		
		燃料の消費(※5)	(燃料種別に設定)	燃料使用増減量				環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0	kg-CO2	
					■/年		kg-CO2/■					
		熱の消費(※5)	(熱種別に設定)	熱使用増減量				環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0	kg-CO2	
					GJ/年		kg-CO2/GJ					
		電力の消費(※5)	(電力使用要因別、利用電力会社別に設定)	電力使用増減量				環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派出生数等の公表』(2009年12月)		0.0	kg-CO2	
					kWh/年		kg-CO2/kWh					
		②ICT機器利用	各種ICT機器の稼働	(機種別に設定)	電力使用増減量			環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派出生数等の公表』(2009年12月)		0.0	kg-CO2	
						kWh/年		kg-CO2/kWh				
		③ネットワークインフラ利用	IP網の利用	—	データ通信増減量				『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)		0.0	kg-CO2
						MB/年		kg-CO2/MB	(※6)			
			固定網の利用(※6)	—	通話&FAX通信増減量						0.0	kg-CO2
						h/年		kg-CO2/h				
		移動体網の利用(※6)	—	通話時間増減量				(※6)				
					h/年		kg-CO2/h			0.0	kg-CO2	
	⑤物移動	自動車による輸送(※7)	(燃料種別、車種別に設定)	(※9)				環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0	kg-CO2	
					■/年		kg-CO2/■					
			鉄道による輸送	—	輸送トンキロ増減量				環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0	kg-CO2
						t・km/年		kg-CO2/t・km				
			船舶による輸送	—	輸送トンキロ増減量				環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0	kg-CO2
					t・km/年		kg-CO2/t・km					
		航空機による輸送	—	輸送トンキロ増減量				環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0	kg-CO2	
					t・km/年		kg-CO2/t・km					
		郵便(封書)	—	郵便増減枚数				『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)		0.0	kg-CO2	
					通/年		kg-CO2/通					
	⑥人移動	鉄道の利用	—	移動距離増減量				国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0	kg-CO2	
					人・km/年		kg-CO2/人・km					
			バスの利用	—	移動距離増減量				国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0	kg-CO2
						人・km/年		kg-CO2/人・km				
		営業用乗用車(タクシー等)の利用	—	移動距離増減量				国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0	kg-CO2	
					人・km/年		kg-CO2/人・km					
		自家用乗用車の利用	—	移動距離増減量				国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0	kg-CO2	
					人・km/年		kg-CO2/人・km					

【別紙2-1】テレワーク環境負荷測定ワークシート

評価項目(※1)			測定データ(変化量)(※1)			CO2排出原単位(※3)			CO2排出変化量		
ライフサイクルステージ	活動	環境負荷要因	測定項目	測定値<A>	単位(※2)	数値	単位(※2)	出典	数値<C>	単位	
テレワーク導入前後で、存在しない活動および活動量に変化がないものは削除し、不足項目があれば追加ください			・左記要因の変化量を測定し、測定結果を下記にご記入ください ・テレワーク導入後、活動量が増加する項目はプラス値を、削減される項目はマイナス値でご記入ください (必要に応じて、計算シートテンプレートをご活用ください)			出典を参照するか、お持ちのデータを活用して原単位を設定してください			<C> = <A> × 		
		航空機の利用	—	移動距離増減量		人・km/年	kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2	
		路面電車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年	kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)	0.0	kg-CO2	
		新交通システムの利用	—	移動距離増減量		人・km/年	kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)	0.0	kg-CO2	
		自動二輪車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年	kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)	0.0	kg-CO2	
		原動機付自転車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年	kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)	0.0	kg-CO2	
	⑦物保管	オフィスビル内での保管	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
		データセンターへの保管(※8)	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
		普通倉庫への保管	(対象スペース別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
	⑧人執務	オフィスビルでの作業	(対象スペース別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
		自宅での作業	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
(c) 出荷	①材料・エネルギー消費	紙の使用	(用途別に設定)	使用増減量		kg/年	kg-CO2/kg	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)	0.0	kg-CO2	
		プリンタカートリッジの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		kg/年	kg-CO2/kg	(※4)	0.0	kg-CO2	
		メディアの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		枚/年	kg-CO2/枚	(※4)	0.0	kg-CO2	
		梱包材の使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		■/年	kg-CO2/■	(※4)	0.0	kg-CO2	
		燃料の消費(※5)	(燃料種別に設定)	燃料使用増減量		■/年	kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		熱の消費(※5)	(熱種別に設定)	熱使用増減量		GJ/年	kg-CO2/GJ	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		電力の消費(※5)	(電力使用要因別、利用電力会社別に設定)	電力使用増減量		kWh/年	kg-CO2/kWh	環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派係数等の公表』(2009年12月)	0.0	kg-CO2	
(d) 流通	②ICT機器利用	自動車による輸送(※7)(※4)	(燃料種別、車種別に設定)	(※9)		■/年	kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		鉄道による輸送(※4)	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		船舶による輸送(※4)	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		航空機による輸送(※4)	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
(e) 設置	①材料・エネルギー消費	紙の使用	(用途別に設定)	使用増減量		kg/年	kg-CO2/kg	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)	0.0	kg-CO2	

【別紙2-1】テレワーク環境負荷測定ワークシート

評価項目(※1)			測定データ(変化量)(※1)			CO2排出原単位(※3)			CO2排出変化量	
ライフサイクルステージ	活動	環境負荷要因	測定項目	測定値<A>	単位(※2)	数値	単位(※2)	出典	数値<C>	単位
テレワーク導入前後で、存在しない活動および活動量に変化がないものは削除し、不足項目があれば追加ください			<ul style="list-style-type: none"> ・左記要因の変化量を測定し、測定結果を下記にご記入ください ・テレワーク導入後、活動量が増加する項目はプラス値を、削減される項目はマイナス値でご記入ください (必要に応じて、計算シートテンプレートをご活用ください) 			出典を参照するか、お持ちのデータを活用して原単位を設定してください			<C> = <A> × 	
	プリンタカートリッジの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		kg/年		kg-CO2/kg	(※4)	0.0	kg-CO2
	メディアの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		枚/年		kg-CO2/枚	(※4)	0.0	kg-CO2
	梱包材の使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(※4)	0.0	kg-CO2
	燃料の消費(※5)	(燃料種別に設定)	燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
	熱の消費(※5)	(熱種別に設定)	熱使用増減量		GJ/年		kg-CO2/GJ	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
	電力の消費(※5)	(電力使用要因別、利用電力会社別に設定)	電力使用増減量		kWh/年		kg-CO2/kWh	環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派出生数等の公表』(2009年12月)	0.0	kg-CO2
②ICT機器利用	各種ICT機器の稼働	(機種別に設定)	電力使用増減量		kWh/年		kg-CO2/kWh	環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派出生数等の公表』(2009年12月)	0.0	kg-CO2
③ネットワークインフラ利用	IP網の利用	—	データ通信増減量		MB/年		kg-CO2/MB	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)	0.0	kg-CO2
	固定網の利用(※6)	—	通話&FAX通信増減量		h/年		kg-CO2/h	(※6)	0.0	kg-CO2
	移動体網の利用(※6)	—	通話&データ通信増減量		h/年		kg-CO2/h	(※6)	0.0	kg-CO2
⑤物移動	自動車による輸送(※7)	(燃料種別、車種別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
	鉄道による輸送	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年		kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
	船舶による輸送	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年		kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
	航空機による輸送	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年		kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
	郵便(封書)	—	郵便増減枚数		通/年		kg-CO2/通	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)	0.0	kg-CO2
⑥人移動	鉄道の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2
	バスの利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2
	営業用乗用車(タクシー等)の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2
	自家用乗用車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2
	航空機の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2
	路面電車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)	0.0	kg-CO2
	新交通システムの利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)	0.0	kg-CO2

【別紙2-1】テレワーク環境負荷測定ワークシート

評価項目(※1)			測定データ(変化量)(※1)			CO2排出原単位(※3)			CO2排出変化量		
ライフサイクルステージ	活動	環境負荷要因	測定項目	測定値<A>	単位(※2)	数値	単位(※2)	出典	数値<C>	単位	
テレワーク導入前後で、存在しない活動および活動量に変化がないものは削除し、不足項目があれば追加ください			・左記要因の変化量を測定し、測定結果を下記にご記入ください ・テレワーク導入後、活動量が増加する項目はプラス値を、削減される項目はマイナス値でご記入ください (必要に応じて、計算シートテンプレートをご活用ください)			出典を参照するか、お持ちのデータを活用して原単位を設定してください			<C> = <A> × 		
		自動二輪車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年	kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)	0.0	kg-CO2	
		原動機付自転車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年	kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)	0.0	kg-CO2	
	⑦物保管	オフィスビル内での保管	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
		データセンターへの保管(※8)	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
		普通倉庫への保管	(対象スペース別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
	⑧人執務	オフィスビルでの作業	(対象スペース別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
		自宅での作業	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
(f) 立上作業	①材料・エネルギー消費	紙の使用	(用途別に設定)	使用増減量		kg/年	kg-CO2/kg	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)	0.0	kg-CO2	
		プリンタカートリッジの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		kg/年	kg-CO2/kg	(※4)	0.0	kg-CO2	
		メディアの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		枚/年	kg-CO2/枚	(※4)	0.0	kg-CO2	
		梱包材の使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		■/年	kg-CO2/■	(※4)	0.0	kg-CO2	
		燃料の消費(※5)	(燃料種別に設定)	燃料使用増減量		■/年	kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		熱の消費(※5)	(熱種別に設定)	熱使用増減量		GJ/年	kg-CO2/GJ	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		電力の消費(※5)	(電力使用要因別、利用電力会社別に設定)	電力使用増減量		kWh/年	kg-CO2/kWh	環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派出係数等の公表』(2009年12月)	0.0	kg-CO2	
	②ICT機器利用	各種ICT機器の稼働	(機種別に設定)	電力使用増減量		kWh/年	kg-CO2/kWh	環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派出係数等の公表』(2009年12月)	0.0	kg-CO2	
	③ネットワークインフラ利用	IP網の利用	—	データ通信増減量		MB/年	kg-CO2/MB	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)	0.0	kg-CO2	
		固定網の利用(※6)	—	通話&FAX通信増減量		h/年	kg-CO2/h	(※6)	0.0	kg-CO2	
		移動体網の利用(※6)	—	通話&データ通信増減量		h/年	kg-CO2/h	(※6)	0.0	kg-CO2	
	⑤物移動	自動車による輸送(※7)	(燃料種別、車種別に設定)	(※9)		■/年	kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		鉄道による輸送	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		船舶による輸送	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	
		航空機による輸送	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2	

【別紙2-1】テレワーク環境負荷測定ワークシート

評価項目(※1)			測定データ(変化量)(※1)			CO2排出原単位(※3)			CO2排出変化量		
ライフサイクルステージ	活動	環境負荷要因	測定項目	測定値<A>	単位(※2)	数値	単位(※2)	出典	数値<C>	単位	
テレワーク導入前後で、存在しない活動および活動量に変化がないものは削除し、不足項目があれば追加ください			・左記要因の変化量を測定し、測定結果を下記にご記入ください ・テレワーク導入後、活動量が増加する項目はプラス値を、削減される項目はマイナス値でご記入ください (必要に応じて、計算シートテンプレートをご活用ください)			出典を参照するか、お持ちのデータを活用して原単位を設定してください			<C> = <A> × 		
⑥人移動	郵便(封書)	—	郵便増減枚数		通/年		kg-CO2/通	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)	0.0	kg-CO2	
	鉄道の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2	
	バスの利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2	
	営業用乗用車(タクシー等)の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2	
	自家用乗用車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2	
	航空機の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2	
	路面電車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)	0.0	kg-CO2	
	新交通システムの利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)	0.0	kg-CO2	
	自動二輪車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)	0.0	kg-CO2	
	原動機付自転車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)	0.0	kg-CO2	
⑦物保管	オフィスビル内での保管	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2	
	データセンターへの保管(※8)	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2	
	普通倉庫への保管	(対象スペース別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2	
⑧人執務	オフィスビルでの作業	(対象スペース別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2	
	自宅での作業	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2	
(g) 運用	①材料・エネルギー消費	紙の使用	(用途別に設定)	使用増減量		kg/年	kg-CO2/kg	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)	0.0	kg-CO2	
		プリンタカートリッジの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		kg/年	kg-CO2/kg	(※4)	0.0	kg-CO2	
		メディアの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		枚/年		kg-CO2/枚	(※4)	0.0	kg-CO2
		梱包材の使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(※4)	0.0	kg-CO2
		燃料の消費(※5)	(燃料種別に設定)	燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
		熱の消費(※5)	(熱種別に設定)	熱使用増減量		GJ/年		kg-CO2/GJ	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
		電力の消費(※5)	(電力使用要因別、利用電力会社別に設定)	電力使用増減量		kWh/年		kg-CO2/kWh	環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派出生数等の公表』(2009年12月)	0.0	kg-CO2

【別紙2-1】テレワーク環境負荷測定ワークシート

評価項目(※1)			測定データ(変化量)(※1)			CO2排出原単位(※3)			CO2排出変化量	
ライフサイクルステージ	活動	環境負荷要因	測定項目	測定値<A>	単位(※2)	数値	単位(※2)	出典	数値<C>	単位
テレワーク導入前後で、存在しない活動および活動量に変化がないものは削除し、不足項目があれば追加ください			・左記要因の変化量を測定し、測定結果を下記にご記入ください ・テレワーク導入後、活動量が増加する項目はプラス値を、削減される項目はマイナス値でご記入ください (必要に応じて、計算シートテンプレートをご活用ください)			出典を参照するか、お持ちのデータを活用して原単位を設定してください			<C> = <A> × 	
②ICT機器利用	各種ICT機器の稼働	(機種別に設定)	電力使用増減量		kWh/年		kg-CO2/kWh	環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後排出係数等の公表』(2009年12月)		0.0 kg-CO2
	③ネットワークインフラ利用	IP網の利用	—	データ通信増減量		MB/年	kg-CO2/MB	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)		0.0 kg-CO2
		固定網の利用(※6)	—	通話&FAX通信増減量		h/年	kg-CO2/h	(※6)		0.0 kg-CO2
移動体網の利用(※6)		—	通話&データ通信増減量		h/年	kg-CO2/h	(※6)		0.0 kg-CO2	
⑤物移動	自動車による輸送(※7)	(燃料種別、車種別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2
	鉄道による輸送	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年		kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2
	船舶による輸送	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年		kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2
	航空機による輸送	—	輸送トンキロ増減量		t・km/年		kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2
	郵便(封書)	—	郵便増減枚数		通/年		kg-CO2/通	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)		0.0 kg-CO2
⑥人移動	鉄道の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0 kg-CO2
	バスの利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0 kg-CO2
	営業用乗用車(タクシー等)の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0 kg-CO2
	自家用乗用車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0 kg-CO2
	航空機の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0 kg-CO2
	路面電車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)		0.0 kg-CO2
	新交通システムの利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)		0.0 kg-CO2
	自動二輪車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)		0.0 kg-CO2
	原動機付自転車の利用	—	移動距離増減量		人・km/年		kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)		0.0 kg-CO2
⑦物保管	オフィスビル内での保管	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)		0.0 kg-CO2
	データセンタへの保管(※8)	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)		0.0 kg-CO2
	普通倉庫への保管	(対象スペース別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)		0.0 kg-CO2
⑧人執務	オフィスビルでの作業	(対象スペース別に設定)	(※9)		■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)		0.0 kg-CO2

【別紙2-1】テレワーク環境負荷測定ワークシート

評価項目(※1)			測定データ(変化量)(※1)			CO2排出原単位(※3)			CO2排出変化量		
ライフサイクルステージ	活動	環境負荷要因	測定項目	測定値<A>	単位(※2)	数値	単位(※2)	出典	数値<C>	単位	
テレワーク導入前後で、存在しない活動および活動量に変化がないものは削除し、不足項目があれば追加ください			・左記要因の変化量を測定し、測定結果を下記にご記入ください ・テレワーク導入後、活動量が増加する項目はプラス値を、削減される項目はマイナス値でご記入ください (必要に応じて、計算シートテンプレートをご活用ください)			出典を参照するか、お持ちのデータを活用して原単位を設定してください			<C> = <A> × 		
		自宅での作業	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量	■/年		kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)		0.0 kg-CO2	
(h) 保守	①材料・エネルギー消費	紙の使用	(用途別に設定)	使用増減量			kg/年	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)		0.0 kg-CO2	
		プリンタカートリッジの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量			kg/年	(※4)		0.0 kg-CO2	
		メディアの使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量			枚/年	kg-CO2/枚	(※4)		0.0 kg-CO2
		梱包材の使用(※4)	(種類別に設定)	使用増減量			■/年	kg-CO2/■	(※4)		0.0 kg-CO2
		燃料の消費(※5)	(燃料種別に設定)	燃料使用増減量			■/年	kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2
		熱の消費(※5)	(熱種別に設定)	熱使用増減量			GJ/年	kg-CO2/GJ	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2
		電力の消費(※5)	(電力使用要因別、利用電力会社別に設定)	電力使用増減量			kWh/年	kg-CO2/kWh	環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派出係数等の公表』(2009年12月)		0.0 kg-CO2
	②ICT機器利用	各種ICT機器の稼働	(機種別に設定)	電力使用増減量			kWh/年	kg-CO2/kWh	環境省報道発表資料『平成20年度の電気事業者別実排出係数・調整後派出係数等の公表』(2009年12月)		0.0 kg-CO2
	③ネットワークインフラ利用	IP網の利用	—	データ通信増減量			MB/年	kg-CO2/MB	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)		0.0 kg-CO2
		固定網の利用(※6)	—	通話&FAX通信増減量			h/年	kg-CO2/h	(※6)		0.0 kg-CO2
		移動体網の利用(※6)	—	通話&データ通信増減量			h/年	kg-CO2/h	(※6)		0.0 kg-CO2
	④ソフトウェア利用	既製品ソフトウェアの開発負荷(※4)	(ソフトウェア別に設定)	購入ライセンス数			ライセンス	kg-CO2/ライセンス	(※4)		0.0 kg-CO2
	⑤物移動	自動車による輸送(※7)	(燃料種別、車種別に設定)	(※9)			■/年	kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2
		鉄道による輸送	—	輸送トンキロ増減量			t・km/年	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2
船舶による輸送		—	輸送トンキロ増減量			t・km/年	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2	
航空機による輸送		—	輸送トンキロ増減量			t・km/年	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)		0.0 kg-CO2	
郵便(封書)		—	郵便増減枚数			通/年	kg-CO2/通	『地球温暖化問題への対応に向けたICT政策に関する研究会報告書』(2008年4月)		0.0 kg-CO2	
⑥人移動		鉄道の利用	—	移動距離増減量			人・km/年	kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0 kg-CO2
	バスの利用	—	移動距離増減量			人・km/年	kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0 kg-CO2	
	営業用乗用車(タクシー等)の利用	—	移動距離増減量			人・km/年	kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0 kg-CO2	
	自家用乗用車の利用	—	移動距離増減量			人・km/年	kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)		0.0 kg-CO2	

【別紙2-1】テレワーク環境負荷測定ワークシート

評価項目(※1)			測定データ(変化量)(※1)			CO2排出原単位(※3)			CO2排出変化量	
ライフサイクルステージ	活動	環境負荷要因	測定項目	測定値<A>	単位(※2)	数値	単位(※2)	出典	数値<C>	単位
テレワーク導入前後で、存在しない活動および活動量に変化がないものは削除し、不足項目があれば追加ください			・左記要因の変化量を測定し、測定結果を下記にご記入ください ・テレワーク導入後、活動量が増加する項目はプラス値を、削減される項目はマイナス値でご記入ください (必要に応じて、計算シートテンプレートをご活用ください)			出典を参照するか、お持ちのデータを活用して原単位を設定してください			<C> = <A> × 	
		航空機の利用	—	移動距離増減量	人・km/年	kg-CO2/人・km	kg-CO2/人・km	国土交通省『運輸部門の地球温暖化対策について』(2007年度のデータ)	0.0	kg-CO2
		路面電車の利用	—	移動距離増減量	人・km/年	kg-CO2/人・km	kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)	0.0	kg-CO2
		新交通システムの利用	—	移動距離増減量	人・km/年	kg-CO2/人・km	kg-CO2/人・km	国土交通省『平成14年度 国土交通白書』(2003年4月)	0.0	kg-CO2
		自動二輪車の利用	—	移動距離増減量	人・km/年	kg-CO2/人・km	kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)	0.0	kg-CO2
		原動機付自転車の利用	—	移動距離増減量	人・km/年	kg-CO2/人・km	kg-CO2/人・km	環境システム研究論文集Vo.32『市区町村の運輸部門CO2排出量の推計手法に関する比較研究』(2004年10月)	0.0	kg-CO2
	⑦物保管	オフィスビル内での保管	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量	■/年	kg-CO2/■	kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
		データセンターへの保管(※8)	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量	■/年	kg-CO2/■	kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
		普通倉庫への保管	(対象スペース別に設定)	(※9)	■/年	kg-CO2/■	kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
	⑧人執務	オフィスビルでの作業	(対象スペース別に設定)	(※9)	■/年	kg-CO2/■	kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
		自宅での作業	(対象スペース別に設定)	電力使用増減量 and/or 燃料使用増減量	■/年	kg-CO2/■	kg-CO2/■	(算出方法に応じて設定)	0.0	kg-CO2
(i) 回収	①材料・エネルギー消費	自動車による輸送(※7)(※4)	(燃料種別、車種別に設定)	(※9)	■/年	kg-CO2/■	kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
		鉄道による輸送(※4)	—	輸送トンキロ増減量	t・km/年	kg-CO2/t・km	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
		船舶による輸送(※4)	—	輸送トンキロ増減量	t・km/年	kg-CO2/t・km	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
		航空機による輸送(※4)	—	輸送トンキロ増減量	t・km/年	kg-CO2/t・km	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
	②ICT機器利用	自動車による輸送(※7)(※4)	(燃料種別、車種別に設定)	(※9)	■/年	kg-CO2/■	kg-CO2/■	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
		鉄道による輸送(※4)	—	輸送トンキロ増減量	t・km/年	kg-CO2/t・km	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
		船舶による輸送(※4)	—	輸送トンキロ増減量	t・km/年	kg-CO2/t・km	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
		航空機による輸送(※4)	—	輸送トンキロ増減量	t・km/年	kg-CO2/t・km	kg-CO2/t・km	環境省・経済産業省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月、Ver.2.4)	0.0	kg-CO2
(j) 廃棄・リサイクル	①材料・エネルギー消費	紙の廃棄・リサイクル(※10)	(種類別に設定)	廃棄増減量	kg/年	kg-CO2/kg	kg-CO2/kg	(※9)	0.0	kg-CO2
		プリンタカートリッジの廃棄・リサイクル(※10)	(種類別に設定)	廃棄増減量	■/年	kg-CO2/■	kg-CO2/■	(※9)	0.0	kg-CO2
		メディアの廃棄・リサイクル(※10)	(種類別に設定)	廃棄増減量	枚/年	kg-CO2/枚	kg-CO2/枚	(※9)	0.0	kg-CO2
		梱包材の廃棄・リサイクル(※10)	(種類別に設定)	廃棄増減量	■/年	kg-CO2/■	kg-CO2/■	(※9)	0.0	kg-CO2

【別紙2-1】テレワーク環境負荷測定ワークシート

評価項目(※1)			測定データ(変化量)(※1)			CO2排出原単位(※3)			CO2排出変化量	
ライフサイクルステージ	活動	環境負荷要因	測定項目	測定値<A>	単位(※2)	数値	単位(※2)	出典	数値<C>	単位
テレワーク導入前後で、存在しない活動および活動量に変化がないものは削除し、不足項目があれば追加ください			・左記要因の変化量を測定し、測定結果を下記にご記入ください ・テレワーク導入後、活動量が増加する項目はプラス値を、削減される項目はマイナス値でご記入ください (必要に応じて、計算シートテンプレートをご活用ください)			出典を参照するか、お持ちのデータを活用して原単位を設定してください			$<C> = <A> \times $	
	②ICT機器利用	各種ICT機器の廃棄・リサイクル(※10)	(機種別に設定) 廃棄台数		台		(※9) kg-CO2/台			0.0 kg-CO2

※1 テレワークモデルにおいて想定される環境負荷要因の考え方については、調査報告書の4.1(3)章をご参照ください。

※2 単位が■印になっている項目については、測定する項目に応じてご変更ください。

※3 原単位データについては、調査報告書の4.1(3)章の表4.1-18をご参照いただき、出展元の最新データをご入力ください。

※4 製造元よりCO2排出原単位データを入手可能であれば算出可能な項目です。ICT機器については、一部「エコライフ」(産業環境管理協会ホームページ参照)に機器ごとのCO2排出量が公表されています。

※5 同ライフサイクル内の活動②～⑧に含まれないもの、含めるのが難しいものが対象となります。

※6 通信事業者よりCO2排出原単位データを入手可能であれば算出可能な項目です。

※7 算出方法の詳細については、環境省『温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル』(2009年3月)の「第II編温室効果ガス排出量の算定方法」の「3.1.6 荷主としてのエネルギーの使用」をご参照ください。

※8 データセンタ事業者より、利用しているスペース分のエネルギー消費量が入手可能であれば算出可能な項目です。

※9 算出方法を決定し、測定項目を設定下さい。算出方法については、調査報告書の4.1(3)章の表4.1-17をご参照ください。

※10 製造元、もしくは廃棄業者よりエネルギー消費量、CO2排出原単位データを入手可能であれば算出可能な項目です。

合計 0.0 kg-CO2